

毛利元就ゆかりの「瀑雪の滝」
滝を臨む真赤なアーチ「三矢橋」
1300m上ると、大和町の古刹・棲真寺に至。
元就も歩いたであろう山道には、自然の造形
勝地が点在する。
古のロマンの香りが誘う古道を上る



命名 乱舞滝(水量で姿変化)
「應海山11勝地」
道中8ヶ所の勝地に
看板表示有

上り *立止りながら 60分
ゆっくり歩を進めば
古のロマンの香りが誘う
下り *足元注意 25分

1300m上る
(標高差230m)



命名 二連滝



瀑雪の滝は、沼田川沿いより北200mの近距離にあり、
滝の幅約3m 高さ30mで、滝壺は飛沫・水煙が立ち込め涼風
を呼ぶ景観である。雨上がりの時、水量の多い落下の状態は
瀑雪の名にふさわしい風景である。
滝隣りにそびえ立つ花崗岩壁を併せて、
瀑雪双壁(本郷町観光協会命名)と称す。
1561年、小早川家(新高山城)を訪れた、
戦国武将・毛利元就公は、吉田への帰路の途中、滝を見物し
た後、棲真寺で宴を催したと伝わる。(小早川家文書)
元就の有名な教え「三矢の訓」に習い、3本の鉄パイプを束
ねた強固な橋・朱色の「三矢橋」が一際映える。



【ご案内】交通アクセス

① 瀑雪の滝駐車場			
～	距離	自動車	徒歩
JR本郷駅 ～県道33	7.3km	10分	100分
本郷IC～県道33		5分	

② 女王滝駐車場			
	距離	自動車	徒歩
本郷IC ～県道 82 → 県立森林公園・駐車場 NO6	6km	8分	
駐車場 NO6 → 滝迄550m下る			8分

本郷町観光協会
〒729-0417
三原市本郷南5-26-11
TEL0848-86-5717

瀑雪の
BAKUSETU-TAKI



本郷町観光協会 製作設置

三原市 本郷町観光協会
平成23年5月発行

棲眞寺

SEISHINJI



瀑雪の滝

BAKUSETU-TAKI

棲眞寺はその昔、無住の間が20有余年も続き、寺や境内が荒廃していた。寛文2年(1662)名僧・仲芳禪師住して荒廃した寺の復興に尽くす。應海山棲眞寺記を編さんして寺の沿革を明かにした。また、表山の天境峰から瀑雪の滝の間、11勝地を選んで各詩を賦し、自然をかりて天真を表す。法灯再び輝き宗風の興隆古に遡る。



びょうぶいわ

勝地【屏風岩】



ほうだがん

勝地【宝陀岩】



いしむろいづみ

勝地【石室泉】



ひとりまばし

勝地:想像図【独木橋】



ざぜんいわ

勝地【座禅岩】



いちおくがん

勝地【一屋岩】



ぼくせつのみき

勝地【瀑雪の滝】



いりゅうがん

勝地【玲瓏岩】



瀑雪の滝

文献「広島県の滝」抜粋

滝のかかっている川の源流は、標高300m~400mの中位平坦面の世羅台地にある大和町平坂付近で、この小河川と沼田川との合流点から約200m上流の標高100mの位置にある。

この付近の沼田川兩岸は河底から中位平坦面までの落差が300mもある深い谷(沼田川(野谷)と沼田川(野谷)の兩岸の落差は300mもある深い谷)



現在の女王滝
平成9年・NHK大河ドラマ「毛利元就」タイトルバックに使われた



【想像図;本郷町観光協会作成】
その昔、船木断層に沿って起きた地殻変動時の右岸・女王滝と左岸・瀑雪の滝



現在の船木峡「安芸の風山」と賞賛されている清流に金口鮎が泳ぐ

沼田川は船木断層に沿って流れたため、急速な下刻作用が進み、支流の谷は懸谷と



【ご紹介】瀑雪の滝⇄棲眞寺に至る山道の復活整備事業について

平成22年4月竣工

- 事業内容 1. 架橋事業(三矢橋 ;設計・製作・設置) 2. 看板設置事業(應海山棲眞寺11勝地)
3. 山道整備事業(倒木撤去) 4. 新勝地名(①瀑雪双壁 ②二連滝 ③乱舞滝)

昭和20年代頃までは、滝から寺の上り下りの山道は生活道として頻繁な利用があり、整備されていたと聞く。

現在では、生活様式の変化に伴い、生活道の必要性がなくなり未整備状態であった。風情と由緒のある古道を多世代で楽しめる山道として復活整備に取り組んだ。2011年春竣工した「広島空港大橋」・「棲眞寺公園」を結ぶコースとして愛されている。

【参考】整備後の来場者数調査結果(調査した日数の累計値);平成22年10月416人 ;11月521人 ;平成23年4月817人 ;5月746人